

第5回 定時評議員会議事録

公益財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成28年8月27日（土）13：30～15：30
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 2階講堂（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 評議員出席状況： 評議員現在数： 50名
出席評議員数： 30名
欠席評議員数： 20名 （出欠表添付）
4. 出席理事：（会長）片 忠夫
（副会長）山田 力、三塚 康雄
（専務理事）上田 英之
（常務理事）木村 徳善、金子 理人、岡田 良平、吉野 大成
（理事） 本田 衛義、国島みどり、高柴 一彦、青木 文明、
橋本 秀直、小池 光、佐々木 生道、中村 浩人、
佐藤 博一、藤田 浩介、酒井 祐一郎、伊藤 英樹、
和田 幸一、中田 圭
5. 出席監事： 加藤 罔夫、勝又 敬夫
6. 出席顧問・参与：（顧問）野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
7. 議長選出： 深渡 剛評議員（伊勢原市スキー協会）を指名
8. 議事録署名人選出：和田 正裕評議員（横浜スキー協会）、川村 一広評議員（川崎スキー協会）
を選出
9. 書 記： 青木 文明理事、徳本 進総務委員を指名
10. 配 付 資 料
 - ① 第5回評議員会資料（事前配布）
 - ② 第5回評議員会資料正誤表（当日配布、差替え資料含む）
 - ③ 第4号議案 次期（平成28年度～平成31年度）評議員の選任（当日配布）
 - ④ 第5号議案 次期（平成28年度～平成29年度）役員選任（当日配布）
 - ⑤ 平成28年度～29年度役員体制（当日配布）
11. 挨拶

片忠夫会長から、次のとおり挨拶があった。

お忙しい中の休日、そして小雨降るなかでご臨席いただきありがとうございます。公益財団法人に移行しまして、5年目を迎えることとなりますが、神奈川県スキー連盟は会員5000名になり、ダウンサイジングを実行し、取組みを開始しました。その中で改革を進めなければならぬ訳ですが、社会情勢、経済情勢、そしてスキー環境の置かれている現状が日々刻々と変わってきております。どのような取組み展開をしていけばよいのか、この先大きな課題となっております。今日は、1年間の報告をする評議員会でありますので、また場を変えてお話しさせていただきますと思います。

リオのオリンピックにてジュニア層の強化を徹底しなければいけないと思います。展開するには加盟団体で子供のスキー行事等実施しているので、育成していただき、県連に送り込んでジュニアを強化する。この一環指導マニュアルに基づいて進めて行かなければと思いますが、その中でも協賛という形で色々なご援助を頂いてますが、これをさらに進めて行かなければと思っています。大きな意味でマーケティングという言葉を使わせていただき、このマーケティングを確立して会員の皆様のサービス、県民へのサービス、登録会員以外の会員が沢山いますので、そこまで手を広げていかなければならないと考えております。そのことが執行方針に明記され、本日の資料の巻末に添付されておりますので、ご参照いただくようお願いいたします。

いずれにしても先シーズンは雪不足で、特に競技の一部事業が中止になりました。これも大自然の中での大きな環境変化で仕方のないことではありますが、その状況の中で取組んでい

くことの課題も与えられますので、これらを含めてご審議いただければと思います。

12. 議 事

1) 報告事項

(1) 一般経過報告

上田英之専務理事より、冒頭に評議員会の開催案内につきまして、開催日等のミスがございました。資料の訂正等も含めて、執行責任者としてお詫び申し上げます。この点については発信文書等を含めまして、再度県連としてキチンと正していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

さて、決算対応、7月末の登録・事業説明会を進めてきましたが、今年度のトピックスとしては、SAJの登録料の改訂という問題があります。SAJは、ここ数年間2～3000万円の赤字です。今回登録料は、2000円から3000円と1000円上昇し、上昇率としても、消費税上昇分よりも高くなっています。SAJとしてキチンと審議したのかということも含めて、東京都・千葉県・神奈川県で構成している、南関東ブロック会議で審議して、平成27年10月に開催されたSAJ評議員会に質問状を提出して登録料改訂の件をキチンと審議されたのかを含めて回答を得ております。まず今回値上げをしたが今までに値上げしたことがなく、最初の消費税導入時から、値上げせず対応してきた。今回上げることで今後は暫く値上げしないような状況をつくってきたいという回答でした。次の回答は、補助金の負担金の自主財源確保です。スノースポーツの中央競技団体として世界選手権での活躍、そしてソチオリンピックでの7個のメダル獲得により、JOC等から多額の補助金を受けています。その補助金に対応する負担金を自主財源で賄う必要があり、その財源確保へ充てることとなります。会員減少ヘインパクトがあることで、心配しているところではありますが、公の場で質問して回答いただいたので皆様にお伝えします。

当連盟の昨年度の登録会員数5000名といよいよ5000名の大台を切る状況が来てしまいました。執行部としましても先ほど、片会長からはダウンサイジングを実行させたいとの話がありました。5000名を切る状況を見据えて執行部としましても、定款の最小人員である、理事22名の新体制でスタートさせることとしました。昨年までは24名でしたが、2名減です。今後は更なるダウンサイジングが必要になると思われませんが、皆様にはこの評議員会が終了して早い時期に、規約規程等審議委員会のお力をお借りして、定款を少し柔軟な形にして、改訂を進めなければいけない。この辺が、下げ止まらない会員数に対する執行体制をどうすべきか模索していかないければならないことで皆様のご意見も伺いたい。執行部側としてはダウンサイジングの着手、皆様においては公益財団法人としてスノースポーツの普及振興の応援に認められている組織で神奈川県を代表する組織であります。是非、会員の増加にご尽力をお願いしたいと思っております。私たちは、クラブで2名増加していただくことで、500名増えますので、私たちの使命でもありますスノースポーツの普及振興を皆で取り上げていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げますとの報告があった。

(2) SAJ報告

岡田良平SAJ理事から、昨年10月にSAJが新体制となりました。私が会長推薦理事に任命され新執行部でスタートし、1年間経過しました。皆様へは多岐に渡りご協力ありがとうございました。その中で、お詫びを申し上げます。シーズンが終わって4月にスノーボード選手の大麻事件がありました。皆様にご心配、ご迷惑をおかけし、執行部側としてお詫び申し上げます。SAJとしましても2年後には、平昌オリンピックが控えております。冒頭、片会長より話しあったようにSAJはジュニア育成に非常に力を掛けております。新体制で、競技・教育の枠を取り払ったうえでの交流、考え方等によりSAJ一丸となって何とかメダルを取ろうということで一致団結して進めております。2年後の平昌オリンピックも前回のソチの7個以上を奪取するという目標に向かっていく次第であります。つきましては、今後、2年間皆様のお力をお借りすることになりますが、よろしく申し上げますとの報告があった。

2) 審議事項

(1) 臨時議案 評議員辞任に伴う評議員の選任について

金子理人総務本部長より、評議員1名（大塚 一：藤沢）の辞任と、新しい評議員（小川 亮：藤沢）の提案がなされた。

質疑はなく、定款第12条に基き行われ、出席評議員の過半数を以って承認された。

新任の評議員が会議に加わり、出席評議員は28名となった。

(2) 第1号議案 平成27年度事業報告及び決算報告

① 平成27年度事業報告について

上田英之専務理事から、平成27年度事業報告について、評議員会資料7ページのとおり報告があった。

② 平成27年度総務本部報告について

金子理人総務本部長から、平成27年度総務本部報告について、評議員会資料37ページのとおり報告があった。

③ 平成27年度教育本部報告について

岡田良平教育本部長から、平成27年度教育本部報告について、評議員会資料68ページ～70ページのとおり報告があった。

④ 平成27年度競技本部報告について

吉野大成競技本部長から、平成27年度競技本部報告について、評議員会資料115ページのとおり報告があった。

⑤ 平成27年度決算報告について

金子理人総務本部長から、平成27年度決算報告について、評議員会資料134ページから143ページのとおり報告があった。

(3) 第2号議案 平成27年度監査報告

勝又敬夫監事から、平成27年度監査報告について、評議員会資料144ページのとおり報告があり、以下のとおり所見が述べられた。

1 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(4) 第3号議案 評議員選出規程の改定

金子理人総務本部長から、評議員選出規程の改定について、評議員会資料46ページから47ページのとおり提案がされた。

(5) 第4号議案 次期（平成28年度～31年度）評議員の選任について

上田英之専務理事から、評議員の任期満了に伴い、定款第13条に基き、評議員に47名を推薦することの提案がなされ、上田専務理事より、一人ずつ氏名を読み上げられた。

評議員の氏名は、配布資料を参照してください。

(6) 第5号議案 次期（平成28年度～平成29年度）役員選出について

上田 英之専務理事から、理事・監事の任期満了に伴い定款第27条に基き、平成28年度～平成29年度次期役員選出についての提案がなされ、一人ずつ氏名を読み上げられた。名簿は次のとおり。

理事：片 忠夫、山田 力、三塚 康雄、木村 徳善、金子 理人、堀 祐樹、
岡田 良平、吉野 大成、腰高 豊、高柴 一彦、佐藤 博一、百海 廷、
山田 耕太、

(以上13名ブロック選出理事)

酒井 祐一郎、中村 浩人、中田 圭、小池 光、国島 みどり、
伊藤 英樹、田村 昌重、新堀 奈穂子、望月 光弘、

(以上9名会長推薦理事)

幹事：勝又 敬夫、加藤 圀夫、

3) 質疑応答

① 平沢幸一評議員(川崎)から、昨年度は暖冬の影響で雪不足のなか各行事が行われ、中止行事を最小限にとどめたこと、又、評議員会資料が早期に発行されたことは執行部の皆さんの努力に感謝申し上げます。4点質問します。

・SAJ会員登録料の値上げについて、上田専務理事よりお話ありましたが、何故今の時期なのか、会員増ではなく、会員減になるのではないか。なぜ今なのかを確認したい。

・昨年の指導員研修会理論にて、認定証の授与式で協会・氏名を1度ならず2度も間違えて、選手に迷惑を掛けたと思います。何故このようなことが起きたのか説明願います。

・評議員会資料の26ページに3月23日の理事会議事録の中で、国体選考クレーム問題が書かれていましたが、差しさわりの無ければどのようなクレームで結末はどうなったかを説明お願いしたい。

・各行事の報告書が色々作成されておりますが、参加費欄が未記入のものあります。折角、資料を作成しているので参加費も記入した方がよろしいのではないかと。例えば、登録料に含むとか、併設行事に含まれるとか、見たときに判りやすくなると思います。

上田専務理事より、

・SAJ登録会費は、おっしゃる通りの疑問も含めて我々も南関東ブロックの組織体を通して正式にSAJ評議員会へ質問状を出しております。1つ大きな変化があるとすれば、ソチの実績で補助金が増額になっている。それに自主財源をしっかり持っていることにリンクしてくるかなあと思われます。SAKも県体協から補助金を貰ってますが、必ず連盟負担金が半分とか3分の1とかありますし、それを含めてと思われます。

・私が執行責任者でありますので、当日壇上にいた選手を含めて大変申し訳ない。理由を問われれば、各本部毎に所属する選手のために各本部毎に準備させていて、統一感は無かった。紹介する担当も変わったりして、どこかの本部が例えば、総務本部が確認を含めて流れをやるべきであったと反省しております。

・国体選考クレームは、県連としては国体後の理事会までは正式にクレームを受けていなかったと捉えております。国体選考会のときに公式掲示があった、そこでクレームがあるならば、時間内に正式にクレームすることが、ルールであります。この方はクレームを付けて来なかった。但し、そのあとに関係者に言ってきた。事実につきましては、FISマークが付いたヘルメットを使用することになりますが、県連としては選手会の時もヘルメットに突起物は危険ですので、突起物だけ確認します。で、確認したつもりであったのですが、実は国体に選ばれた選手の中にFISマークの無いヘルメットを使用した選手がいた。それはルール違反と言うクレームなのですが、クレームのルールに従いクレームを付けて来なかった。県連としては現地の関係者は一部知っていましたが、理事会は認識していませんでした。でも国体が近づくにつれて、その方は色々な行動をとられ問題が外に出たりした訳でして、県連としては理事会でも議題にならないことで認知してない状況にありました。正式には、国体が済んでから県連に対し文書を提出していただきここで正式なクレームとして理事会で取り上げたということです。最終的にはTCミーティングでのヘルメットの着重点の確認、最初の決められた時間内にクレームとしていただかなかったということで、問題はないということになりました。本人ともお話をさせていただいて、どれだけ了解したかはわかりませんが、一応決着しております。今後は、ルール(ヘルメット含)の確認、選手の安全も含めて強化したいと思います。但し、国体選考会といえども多くの人に大会を楽しみ、参加していただいとと考えております。しかし安全は譲れず、ヘルメットの突起物は危険であり、今回FISマークを黙認したことも含めて、今

後どのように対応するかは検討中です。

・報告書の件もおっしゃる通りで、県連も参加費・参加人員については、キチンと書くことの指導を開始したところですよとの答弁がされた。

- ② 久保田 秀之評議員（小田原）から、SAJ会員登録料の値上げについて、今回SAJから1800円（旧1200円）に値上げされたが、それに伴って、SAK・協会が600円となり、昨年の400円が600円になったことの説明をいただきたいことと、会員が減少している中で、何故値上げをしたのかの説明をお願いしますとの質問があり、

上田専務理事より、我々も昨年のSAJ理事会議事録に2～3行の会費値上げについて承認された文面があって、内容がよく解らないこともあり、質問した経緯でございます。先ほど説明したソチの関係とか、色んなこと含めて想定するしかないと思います。値上げの幅ですが、会員の負担増について理事会でも検討しましたが、基本的にはこの大きな変化をチャンスと捉えて、人数が減少しなければ協会も含めて活動費として増えることとなりますので、人数減らないことに努力していただき、会員の負担は増えますが、ご理解をいただければと思います。尚、値上げ分が全部SAJへ入る訳ではなく、SAJが600円アップし、県連・協会は200円ずつアップということでご理解をいただきたいと思っておりますとの答弁がされた。

- ③ 久保田秀之評議員（小田原）から、各協会と県連に400円から600円に200円上がったのは何故かとの質問があり、

上田専務理事より、これは我々が勝手に金額を決める訳ではなくて、SAJが登録費を決めるときに基本的に県連に対するバック（＝取扱手数料）なのですが、今までは2000円徴収したら800円を県連に戻すことが、SAJルールで決まっています。SAKはそれを協会へシェアしている。長い歴史のなかでそのようになっております。今回3000円に値上げすることになり、県連取扱手数料が1200円になり、従来通りの考えでいくと、県連・協会600円となったわけです。そのような考え方ですよとの答弁がされた。

- ④ 田代光弘評議員（鎌倉）から、レンタルボックスを借りたということで、広さはどのくらいで、月又は年で費用はいくら掛かっているのか伺いたいとの質問があり、

金子総務本部長から、事務所から旧1号線を登っていく所に借りました。広さは2.5坪、月2万円の費用が掛かりますとの答弁がされた。

- ⑤ 鈴木英一評議員（横浜）から、登録集計表の中に認定指導員の言葉がないが、SAKは扱いをされているのか。手元に数字があれば教えてくださいとの質問があり、

金子総務本部長から、指導員との区分のなかで、昨年度からは他県連からも登録された方がいるので、指導員集計表には入ってなく、SAK独自に集計している。現在、登録者数は64名います。まだ未登録数22名いますので、SAKとして精査していくところですよとの答弁がされた。

- ⑥ 川岸保貴評議員（愛川町）から、各役員にご苦労様です。激励の意見として述べさせていただきます。冒頭、上田専務理事より、本日の評議員会の案内に手違いがあったことの報告がありましたが、私個人的には県連からの連絡事項が総務本部を通して来る訳ですが、何となく以前と違うような気がして仕方ない。SAKは3本部あるが、組織の骨組みの総務本部は今まで以上に頑張ってくださいたく、私は願っているところであります。よろしくをお願いしますとの要望があった。

質疑に続き、議長から第1号議案及び第2号議案について、一括して承認を得たい旨の採決が行われ、賛成多数で可決された。

続いて、第3号議案について、承認を得たい旨の採決が行われ、賛成多数で可決された。

続いて、第4号議案について、承認を得たい旨の採決が行われ、賛成多数で可決された。

議長から、第5号議案の次期役員を選出については、定款の第21条の3項により、理事または監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに決議しなければならないため、

議長から理事並びに監事の名前を一人ずつ読み上げた後、挙手で承認を得たい旨採決を行なわれ、すべての役員候補者が賛成多数で承認された。
ここで議長より、一旦休憩を取ることを宣言があった。

議長より、評議員会の再開が宣誓されて、新役員体制について新専務理事より報告があった。

4) 報告事項

①平成28・29年度の役員体制について

木村徳善専務理事より、平成28年度～29年度の役員体制について、配布資料により説明があり、評議員会休憩のあとの理事会で審議され承認されたことの報告があった。

5) その他

県連側なし、評議員会からもなし。

以上を以って、本日の議事を終了し、書記解任、議長解任後、退任する理事の挨拶及び新らしく就任した理事の挨拶並びに新理事を代表して、片忠夫会長より挨拶があり、山田力副会長より閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成28年 9月 3日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印